

令和2・3年度 地方創生推進交付金等を活用した事業の実施状況

交付金名称	事業名	事業期間	事業概要	取組内容	総事業費(円)	交付金額(円)	事業の進捗状況(交付金事業完了後の取組状況を含む) (令和4年3月末現在)		本事業の重要業績評価指標(KPI)					令和4年度以降の方針
							内容	内部評価	指標	【令和2年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	【令和3年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	累計(令和3年度まで) 上段:目標値 下段:実績値	事業効果	
地方創生推進交付金	ピーカンナッツの生産・流通基盤構築による地方創生プロジェクト	平成30年度～令和2年度(令和3年度繰越)	北米原産の高栄養価・高収益作物であるピーカンナッツの国内初となる生産・流通基盤を構築することで、農業の6次産業化を通じた災害からの創造的復興と地方創生のモデルを提示する。 具体的には、国産ピーカンナッツの商業生産の基盤づくりと輸入ピーカンナッツによる市場形成と流通基盤づくりに取り組むもの。	【令和2年度】 ・国産ピーカンナッツの商業生産の基盤づくり ・輸入ピーカンナッツによる市場形成と流通基盤づくり	【令和2年度】 87,488,809	【令和2年度】 43,744,404	【令和2年度】 ・ピーカンナッツ苗木育成施設が完成した。 ・ピーカンナッツの健康機能性調査に係る業務委託を実施し、内容の公表を行った。	B. 概ね計画どおり進んでいる	① 市内事業者のピーカンナッツ関連商品の年間売上高	136,000千円		195,000千円	③ 地方創生に効果があった	令和3年度に事業期間が終了した。引き続き、ピーカンナッツの国内初となる生産・流通基盤の構築に向けて、産学官協働により取り組みを進める。
					0千円	0千円			50,351千円					
				② ピーカンナッツの生産・流通分野での新規雇用者数	10人				16人					
					4人	2人			10人					
地方創生推進交付金	「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」の実現	令和元年度～令和3年度	パラスポーツ(eスポーツを含む)の大会・合宿を誘致し、市民と障がい者が触れ合う「交流のまち」によって心のバリアを取り払うことを目指す。 SDGs普及啓発活動を通じて、「共生のまち」に向けた基盤づくりに取り組む。 SDGsに賛同する企業などを誘致し、「持続可能なまち」を実現する。 地方都市で課題になるラストワンマイルの移動などについて、支えあい交通による移動手段の確保など「すべての人にやさしいまち」を具現化していく。	【令和2年度】 ・パラスポーツ大会・合宿等誘致 ・SDGs普及啓発 ・企業誘致に係るシティプロモーションの実施 ・SDGs起業家育成プログラムの実施	【令和2年度】 45,886,123	【令和2年度】 22,943,061	【令和2年度】 ・東北eスポーツ祭(体験会・本大会)を開催し、多様な世代の市民が参加した。 ・市内事業者等が参加するSDGs推進プラットフォームを定期開催し、メンバーによるSDGs普及啓発イベントを実施した。 ・東京での超福祉展への参加及びYoutubeを活用しSDGsに係る取組を配信した。 ・SDGs達成における社会課題解決に対する事業を志す人を対象に、起業塾・ビジネスプラン発表会等を実施した。	B. 概ね計画どおり進んでいる	① 障がい者と交流できるパラスポーツ(eスポーツを含む)の大会・合宿などへの参加市民数	2,500人	3,500人	7,500人	③ 地方創生に効果があった	令和3年度に事業期間が終了した。引き続き、障がい者に対する市民の心のバリアフリー化やユニバーサル対応のまちづくりを進めるとともに、SDGs普及啓発等を通じて「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」の実現に取り組む。
					214人	80人			294人					
				② 地域機運の醸成事業への参加者数	70人	80人			200人					
					500人	540人			1,140人					
地方創生推進交付金	「ノーマライゼーションという言葉のいらないまちづくり」の実現	令和元年度～令和3年度	パラスポーツ(eスポーツを含む)の大会・合宿を誘致し、市民と障がい者が触れ合う「交流のまち」によって心のバリアを取り払うことを目指す。 SDGs普及啓発活動を通じて、「共生のまち」に向けた基盤づくりに取り組む。 SDGsに賛同する企業などを誘致し、「持続可能なまち」を実現する。 地方都市で課題になるラストワンマイルの移動などについて、支えあい交通による移動手段の確保など「すべての人にやさしいまち」を具現化していく。	【令和3年度】 ・パラスポーツ大会・合宿等誘致 ・SDGs普及啓発 ・企業誘致に係るシティプロモーションの実施 ・SDGs起業家育成プログラムの実施	【令和3年度】 31,992,400	【令和3年度】 15,996,200	【令和3年度】 ・パラリンピアン等の義足等の開発者を招いたトークセッション等を実施した。 ・市内事業者等が参加するSDGs推進プラットフォームを定期開催し、メンバーによるSDGs普及啓発イベントを実施した。 ・「超福祉の学校プロジェクト」「国際交流で考えるSDGs」シンポジウムを開催し、Youtubeで配信した。 ・SDGs達成における社会課題解決に対する事業を志す人を対象に、起業塾・ビジネスプラン発表会等を実施した。	B. 概ね計画どおり進んでいる	③ SDGsに賛同する企業の誘致件数	1件	3件	4件	③ 地方創生に効果があった	令和3年度に事業期間が終了した。引き続き、障がい者に対する市民の心のバリアフリー化やユニバーサル対応のまちづくりを進めるとともに、SDGs普及啓発等を通じて「ノーマライゼーションという言葉のいらないまち」の実現に取り組む。
					1件	1件			3件					
				④ ユニバーサル対応の研究開発案件数	1件	1件			2件					
					0件	0件			0件					

交付金の種類	事業名	事業期間	事業概要	取組内容	総事業費(円)	交付金額(円)	事業の進捗状況(交付金事業完了後の取組状況を含む) (令和4年3月末現在)		本事業の重要業績評価指標(KPI)					令和4年度以降の方針
							内容	内部評価	指標	【令和2年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	【令和3年度増分】 上段:目標値 下段:実績値	累計(令和3年度まで) 上段:目標値 下段:実績値	事業効果	
地方創生推進交付金	陸前高田市持続可能な地域経済基盤構築プロジェクト	令和2年度～令和4年度	「地域経済循環に関する調査分析及び周知活動」、「地産地消の戦略的推進」及び「地産外商の戦略的強化」の事業を通じて、人口減少を迎える中においても持続可能な地域経済基盤の構築を目指す。	【令和2年度】 ・地域経済循環に関する調査分析及び周知活動 ・地産地消の戦略的推進 ・地産外商の戦略的強化	【令和2年度】 31,355,616	【令和2年度】 15,677,808	B. 概ね計画どおり進んでいる	① プロジェクト参加店舗における産食率(気仙地域産食材品目数÷食材品目数(総合計)) ② "地消地産"の推進に資する新規事業数 ③ 市外における地場産品の新規販売拠点数 ④	0%	5%	5%	③ 地方創生に効果があった	引き続き、地域経済循環を促進するため、地場産品使用店の認証制度をはじめ、地場産品の認知度向上に向けた取り組み等を推進する。	
				0%	3%	3%								
				1件	2件	3件								
				1件	1件	2件								
地方創生拠点整備交付金	陸前高田市ピーカンナツ産業振興施設整備計画	令和3年度	市の中心市街地にピーカンナツの加工や販売を行う、工場と店舗機能を有する陸前高田市ピーカンナツ産業振興施設を建設する。	【令和3年度】 ・建設工事 ・電気設備工事 ・機械設備工事	【令和3年度】 624,086,600	【令和3年度】 312,043,300	B. 概ね計画どおり進んでいる	① 陸前高田市ピーカンナツ産業振興施設における新規雇用者数 ② 陸前高田市ピーカンナツ産業振興施設への来客数 ③ ④		8人	8人	③ 地方創生に効果があった	令和3年度に事業期間が終了した。施設の活用を通じて、ピーカンナツを地域の新たな産業とし、雇用の創出につなげるとともに、中心市街地の主要集客施設とし、地域経済の好循環の実現に向けた取り組みを推進する。	
					0人	0人								
					6,000人	6,000人								
					0人	0人								

【事業効果 凡例】
 ① 地方創生に非常に効果的であった
 ② 地方創生に相当程度効果があった
 ③ 地方創生に効果があった
 ④ 地方創生に対して効果がなかった